

たじみの公共施設

6

問 公共施設管理室
林 TEL 22-1376

多治見市は全国平均より約2割多い公共施設に対する取り組み(公共施設マネジメント)を進めています。

公共施設を取り巻く課題を市民の皆さんと共有し共に解決していくため、11月に市内3カ所で公共施設マネジメントに関する市民説明会を開催しました。今後、公共施設マネジメントを進めていくことについては、参加者から賛同の意見を多くいただく一方、次の意見をいただきました。

- ・統廃合の計画は全市的に考えるだけでなく、地域ごとの将来人口や施設保有量などの実情を踏まえて検討してほしい
- ・統廃合を計画する際は、交通網や駐車場の確保を併せて検討してほしい
- ・マネジメントを進めるに当たっては防災の観点を忘れないでほしい
- ・今後自治体間競争が進む中で、市の魅力となる

必要な施設には投資を行うべき

- ・各施設の維持管理にかかるコストをオープンにして議論を進めてほしい

市は現在、今回いただいた意見を参考にして公共施設適正配置計画の素案を作成しています。平成30年度には、この素案についてさらに幅広く市民の皆さんと意見を交換する機会を設け、計画を策定していく予定です。



▲市民説明会の様子

公共施設マネジメント市民説明会の概要を公式ホームページに掲載しています。



時代をつむぐ男と女

147

問 暮らし人権課 伊藤 TEL 22-1128

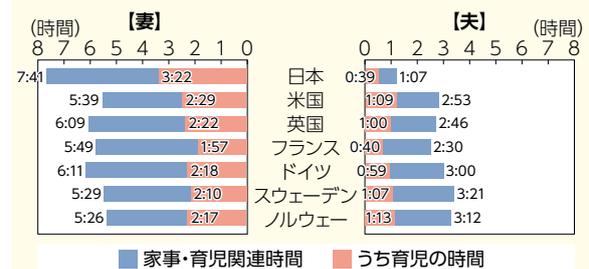
国の調査結果では、平成23年における6歳未満の子どもを持つ日本人男性の1日あたりの家事・育児に費やす時間は「1時間7分」でした。(岐阜県は59分) 図にある他の国と比べてみても、男性が家事・育児に費やす時間が少ないことが分かります。

平成28年4月に「女性活躍推進法」が施行され、従業員が301人以上の事業所では女性の活躍に関する状況(女性採用比率、継続年数の男女、労働時間の状況、女性管理職比率など)の把握・分析を踏まえ、数値目標や取組内容などを盛り込んだ「事業主行動計画」に基づく取り組みを実施し、点検・評価により、一層の女性の活躍が期待されています。

しかし、女性が働きたいと思っても家事・育児の負担が重くのしかかっている状態では、大変です。日本では子育てをする男性を「イクメン」と呼び、「パパが子育てを手伝う」という表

現が多く使われます。自分の子どもなのに、「手伝う」という表現は不思議ですね。夫の家事育児関連時間が長い北欧の国では、「イクメン」という概念はありません。なぜなら、「パパが子育てをするのは当たり前」だからです。日本もそういった認識を持つ人が増えることで、育児の負担が分散され、男女共同参画社会に繋がります。

6歳未満の子どもを持つ夫婦の家事・育児時間



※1日あたり、国際比較

※内閣府「平成29年版男女共同参画白書」より出典